

# 海老名市 平成 27 年度一般会計決算概要

～ 悲願の実現・未来へ前進 ～



## 決算の状況

- 一般会計歳入決算額 425億4,110万2,570円  
(前年度比14億2,388万4,352円、3.2%の減)
- 一般会計歳出決算額 411億1,505万7,718円  
(前年度比12億407万6,281円、2.8%の減)

## 歳入(一般会計)

- 市 税 : 217億3,300万円 (前年度比3億2,000万円、1.5%増)
  - うち個人市民税 84億900万円 (前年度比1億300万円、1.2%増)
  - うち法人市民税 15億4,700万円 (前年度比2,500万円、1.6%減)
  - うち固定資産税 95億1,300万円 (前年度比2億5,000万円、2.7%増)
- 国・県支出金 : 87億200万円 (前年度比4億9,100万円、5.3%減)
- 繰入金 : 9億2,200万円 (前年度比4億3,100万円、31.9%減)
- 市 債 : 37億1,600万円 (前年度比11億8,600万円、24.2%減)

## 歳出(一般会計)

- 義務的経費 : 188億5,400万円 (前年度比2億2,400万円、1.2%減)
  - ・人件費 : 68億2,600万円 (前年度比1億5,800万円、2.3%減)
  - ・扶助費 : 94億3,700万円 (前年度比3億9,500万円、4.4%増)
  - ・公債費 : 25億9,100万円 (前年度比4億6,100万円、15.1%減)

人件費、公債費は減少しておりますが、扶助費は大きく増加しております。義務的経費は今後も増加が見込まれ、財政の弾力性確保の点から、今後も注視が必要です。
- 普通建設事業費 : 67億6,100万円 (前年度比21億3,500万円、24.0%減)

普通建設事業費は、前年度にビナスポ、市営上河内住宅の建設や3市消防指令センター整備が完了したことなどにより大幅な減少となりました。

# 平成27年度の主な取り組み

## 子ども・ 子育て世代に 優しいえびな

### 平成27年度重点テーマ

## 「輝け！未来へ！ はばたくえびなっ子」

未来を担う子どもたちが健やかに成長する魅力的な環境の整備が必要であることから、「輝け！ 未来へ！ はばたくえびなっ子」をキャッチフレーズに、ハード・ソフト両面にわたる子育て世代に優しい事業を重点的に推進しました。

#### ●海老名で産み育てる

特定不妊治療・不育症治療の助成 600 万円

#### ●えびなっ子の誕生を祝福して

紙オムツ支給事業の開始 1,400 万円

#### ●保護者負担軽減及び学力向上

新入学児童生徒への教材費支援 3,300 万円

#### ●子どもの健全な育成・子育て世代の負担軽減

子ども医療費助成事業の継続 5 億 2,500 万円

#### ●児童生徒のより良い成長に向けて

小中一貫教育の研究推進 500 万円

#### ●社会教育活動の充実

学校応援団組織の結成 4,100 万円



## 魅力を結び 輝くまち えびな

平成27年度は、本市の30年来の悲願であった海老名駅西口地区の「まち開き」と小田急ロマンスカーの海老名駅停車が実現し、長年の夢が形になるとともに、東西一体のまちづくりへ向けた大きな節目の年となりました。

#### ●まち開き 長年の夢実現

海老名駅西口地区土地区画整理事業の促進及び

公共施設の整備 7 億 1,000 万円

#### ●新たなまちの交通円滑化へ向けて

海老名駅西口地区関連道路の整備 5 億 5,200 万円

#### ●海老名駅東西一体のまちづくり

海老名駅自由通路（駅間部・西口部）の整備 19 億 3,300 万円

#### ●新たなまちの交通集中対策

海老名駅周辺の交通対策 600 万円



海老名駅自由通路



記念式典の様子



## 安全・安心に 輝けるまち えびな

- 防災情報の確実な受信  
防災ラジオの導入 2,300万円
- 円滑かつ確実な消防業務体制の確保  
3市消防指令センターの運用開始 2,900万円
- 水害時の早期避難の推進  
海老名市土砂災害ハザードマップの作成 6,700万円



防災ラジオ



3市消防指令センター

## 誰もが元気に 輝けるまち えびな

- 新しい図書館の誕生  
中央図書館大規模改修の実施 10億4,200万円
- トライアングル交流5周年  
都市間交流事業の充実 1,000万円



中央図書館



## 各種産業が 輝くまち えびな

- にぎわいのあるまちを目指して  
プレミアム付き商品券の発行助成 7,600万円
- 情報発信のツールとして  
観光用スマートフォンアプリの導入 1,000万円
- 農のあるまちに向けて  
農業経営安定化の促進 1億4,700万円



## 地球に優しく 住みやすいまち えびな

- 人と動物の共生社会に向けて  
野良猫の増加抑制の助成 200万円
- 地球温暖化防止の促進  
省エネルギー施設導入に対する助成 1,800万円



## 輝き続ける ための 行政改革

- 新たな食の創造  
食の創造館への指定管理者制度の導入  
3億5,400万円
- 持続可能な公共施設マネジメント指針  
公共施設再編計画の策定 (~H28 まで)  
1,100万円

食の創造館



## 基金及び市債残高の状況

- 基金残高は61億64百万円（前年度比8億82百万円、16.7%の増）となりました。また、市債残高は一般会計分が274億64百万円（前年度比14億93百万円、5.8%の増）と過去最高となりました。
- 市民一人当たりの基金残高は44,278円で、政令市を除く県内16市においては6番目に多い金額となる見込みです。また、特別会計分を含めた市債の市民一人当たり残高は、315,536円となり、県内16市においては最も少ない金額を堅持する見込みです。

（単位：千円）

区分	平成27年度	平成26年度	増減額	増減率(%)
基金残高	6,163,903	5,281,962	881,941	16.7
市債残高	41,311,846	40,071,382	1,240,464	3.1
一般会計分	27,463,664	25,970,348	1,493,316	5.8
下水道事業特別会計分	13,848,182	14,101,034	△252,852	△1.8

※特別会計で管理する基金は除いております。

## 財政力指数及び経常収支比率

- 平成27年度の財政力指数（単年度）は0.998となり、0.007ポイント上昇しましたが、平成23年度から、5年連続で普通交付税交付団体となりました。
- 経常収支比率は、92.3%（前年度比2.6ポイント減）となり、前年度より僅かに改善しましたが依然として高水準で推移しています。

区分	平成27年度	平成26年度	増減
財政力指数（3ヵ年平均）	0.991	0.988	0.003
財政力指数（単年度）	0.998	0.991	0.007
経常収支比率(%)	92.3	94.9	△2.6
実質収支比率(%)	4.2	2.3	1.9

※実質収支比率は、決算統計に基づき算定しております。

## 健全化判断比率及び資金不足比率

- 健全化判断比率及び資金不足比率については、いずれの比率も国が定めた早期健全化基準を大きく下回っており、本市の財政の健全性は、財政健全化法上も問題ないこととなりました。

### 【健全化判断比率】

	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	－（赤字なし）	12.24%
連結実質赤字比率	－（赤字なし）	17.24%
実質公債費比率	0.8%	25.0%
将来負担比率	7.5%	350.0%

### 【資金不足比率】

公営企業会計名	資金不足比率	経営健全化基準
下水道事業特別会計	－（資金不足なし）	20.0%